

カラーOCR ライブラリー
帳票認識ライブラリー Ver.6 仕様書

第2版

不許複製

目次

1.概要	4
2.関数群	4
(1) 基本関数.....	4
(2) モード設定関数.....	4
(3) ユーザーパターン辞書関数.....	4
(4) 拡張関数.....	5
(5) ログ出力関数.....	5
3.関数仕様	6
IDRCInitExtractFields.....	6
IDRCSetExtractImage.....	7
IDRCSetExtractDib.....	8
IDRCSetRecogDib.....	9
IDRCLoadExtractFields.....	10
IDRCAddFormatFile.....	11
IDRCAddFormatFileEx.....	12
IDRCDeleteFormatFile.....	13
IDRCGetFormatFilesNumber.....	14
IDRCSetMatchFormat.....	15
IDRCSetMatchFormatWithRotateImage.....	16
IDRCGetExtractFieldsNumber.....	17
IDRCGetOneExtractFieldText.....	18
IDRCTerminateExtractFields.....	19
IDRCChangeCheckThresh.....	20
IDRCSetFormatMatchThresh.....	21
IDRCCharUserCHANGE.....	22
IDRCAutoSkewExtractImage.....	23
IDRCGetFieldImage.....	24
IDRCGetFieldImageRect.....	25
IDRCIsWritten.....	26
IDRCGetExtractDib.....	27
IDRCGetExtractImage.....	28
IDRCGetOneExtractFieldCharInfo.....	29
IDRCGetOneExtractFieldCharRect.....	30
IDRCGetMatchPercent.....	31

IDRCGetFormatFileName	32
IDRCGetLastFormAngle	33
IDRCGetLastFormRotateDirect	34
IDRCCheckData.....	35
IDRCGetNumOfSubFields	36
IDRCClearNoise.....	37
IDRCSetLogLevel.....	38
IDRCSetLogFile	39
4.エラーコード.....	40
エラーコード一覧表	40
認識対象文字	43

1. 概要

帳票認識ライブラリーは、複数フォーマットの中から帳票画像に適合するフォーマットを識別し、帳票の文字画像などを認識して、文字コードに変換するソフトウェアです。認識対象は、活字文字・手書き文字・チェックマーク・オーバーライトチェックマーク・バーコードです。また、帳票フォーマットのフィールド属性として文字種（漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・ユーザー定義）、言語処理の利用、全角・半角出力の設定など、細かな設定ができます。帳票フォーマットは「フォーマット編集」で作成します。なお、本帳票認識ライブラリーは、「帳票 OCR」で作成したユーザーパターン辞書を使用できます。

2. 関数群

カラー対応部 idrcform.dll の関数群を以下に示します。

(1) 基本関数

IDRCInitExtractFields()
IDRCSetExtractImage()
IDRCSetExtractDib()
IDRCSetRecogDib()
IDRCLoadExtractFields()
IDRCAddFormatFile()
IDRCAddFormatFileEx()
IDRCDeleteFormatFile()
IDRCGetFormatFilesNumber()
IDRCSetMatchFormat()
IDRCSetMatchFormatWithRotateImage()
IDRCGetExtractFieldsNumber()
IDRCGetOneExtractFieldText()
IDRCTerminateExtractFields()

(2) モード設定関数

IDRCChangeCheckThresh()
IDRCSetFormatMatchThresh()

(3) ユーザーパターン辞書関数

IDRCCharUserCHANGE()

(4) 拡張関数

IDRCAutoSkewExtractImage()
IDRCGetFieldImage()
IDRCGetFieldImageRect()
IDRCIsWritten()
IDRCGetExtractDib()
IDRCGetExtractImage()
IDRCGetOneExtractFieldCharInfo()
IDRCGetOneExtractFieldCharRect()
IDRCGetMatchPercent()
IDRCGetFormatFileName()
IDRCGetLastFormAngle()
IDRCGetLastFormRotateDirect()
IDRCCheckData()
IDRCGetNumOfSubFields()
IDRCClearNoise()

(5) ログ出力関数

IDRCSetLogLevel()
IDRCSetLogFile()

3. 関数仕様

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCHandleExtractFields(size)</p>									
<p>機能</p>	<p>文字認識用辞書のロード・初期化などの処理を行い、動作に必要なメモリーを確保します。 辞書ファイルは次の 6 ファイルであり、これらは必ず*.DLL ファイルと同一のディレクトリ内に格納する必要があります。</p> <p>(1) jocr1.dic (2) jocr2.dic (3) jocr3.dic (4) jocr4.dic (5) jocr5.dic (6) JPOST.DIC</p> <p>指定できる用紙サイズは 2 通りです。 (A4 縦書き、A4 横書き、A3 縦書き、A3 横書き)</p>									
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】</p> <p>int size; 用紙サイズ（下表の値を指定します。）</p> <table border="1" data-bbox="481 1093 1099 1249"> <thead> <tr> <th>大きさ</th> <th>縦書き</th> <th>横書き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A4</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>A3</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>【出力】</p> <p>なし</p> <p>【戻り】</p> <p>IDR_ERROR_NORMAL 正常終了 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>	大きさ	縦書き	横書き	A4	1	2	A3	3	4
大きさ	縦書き	横書き								
A4	1	2								
A3	3	4								
<p>備考</p>	<p>帳票認識ライブラリーの他関数を使用する前に、必ず本関数を呼ぶ必要があります。</p>									

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCSetsExtractImage(filename, nPage)</p>
<p>機能</p>	<p>既存の画像を破棄し、ファイルから認識対象画像をセットします。 この画像は、帳票識別およびフィールド内容の取得の対象となります。 画像形式は TIFF・BMP・JPEG・PCX・DCX に対応しています。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】</p> <p>char *filename; 設定する画像ファイルのパス int nPage; 設定する画像のページ番号（1オリジン）</p> <p>【出力】</p> <p>なし</p> <p>【戻り】</p> <p>IDR_ERROR_NORMAL 正常終了 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCSetsExtractDib(lpDib, xres, yres)</p>
<p>機能</p>	<p>既存の画像を破棄し、メモリーから認識対象画像をセットします。 この画像は、帳票識別およびフィールド内容の取得の対象となります。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】</p> <p>LPBITMAPINFO lpDib; 設定する画像 int xres; 横方向の解像度 int yres; 縦方向の解像度</p> <p>【出力】</p> <p>なし</p> <p>【戻り】</p> <p>IDR_ERROR_NORMAL 正常終了 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCSetsRecogDib(lpDib, xres, yres)</p>
<p>機能</p>	<p>フォーマットマッチなどの帳票識別で使った画像とは別に、文字認識用にカラードロップアウトなどの処理を行った画像を帳票認識ライブラリーに設定します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】</p> <p>LPBITMAPINFO lpDib; 設定する画像</p> <p>int xres; 横方向の解像度</p> <p>int yres; 縦方向の解像度</p> <p>【出力】</p> <p>なし</p> <p>【戻り】</p> <p>IDR_ERROR_NORMAL 正常終了</p> <p>上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCLoadExtractFields(filename)</p>
<p>機能</p>	<p>識別用にフォーマットファイル(*.fmt)をロードします。 「フォーマット編集」で作成したフォーマットファイルを使用します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 char filename[]; ロードするフォーマットファイルのパス 【出力】 なし 【戻り】 IDR_ERROR_NORMAL 正常終了 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	<p>本関数が呼ばれる前にロードされたフォーマットはすべて破棄されます。</p>

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCAAddFormatFile(filename)</p>
<p>機能</p>	<p>識別用にフォーマットファイル(*.fmt)をロードし、フォーマットリストに1つ追加します。 「フォーマット編集」で作成したフォーマットファイルを使用します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 char *filename; 追加するフォーマットファイルのパス 【出力】 なし 【戻り】 IDR_ERROR_NORMAL 正常終了 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCAAddFormatFileEx(pNum, filename)</p>
<p>機能</p>	<p>識別用にフォーマットファイル(*.fmt)をロードし、フォーマットリストに1つ追加して、リスト番号を取得します。 「フォーマット編集」で作成したフォーマットファイルを使用します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 char *filename; 追加するフォーマットファイルのパス</p> <p>【出力】 int *pNum; 追加したフォーマット番号を受け取る領域へのポインター</p> <p>【戻り】 IDR_ERROR_NORMAL 正常終了 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRDeleteFormatFile(n)</p>
<p>機能</p>	<p>登録されている指定番目のフォーマットを削除します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 unsigned int n; 削除するフォーマット番号 【出力】 なし 【戻り】 IDR_ERROR_NORMAL 正常終了 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCHandleFormatFilesNumber()</p>
<p>機能</p>	<p>識別用にセットされているフォーマットの数を取得します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 なし</p> <p>【出力】 なし</p> <p>【戻り】 セットされているフォーマットの数 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCSetMatchFormat()</p>
<p>機能</p>	<p>設定されている画像とマッチするフォーマットの番号を取得します。 マッチしたフォーマットがある場合、そのフォーマットをカレントフォーマットに設定します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 なし 【出力】 なし 【戻り】 マッチしたフォーマット番号(0 オリジン) -1 マッチしなかった場合 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	<p>事前に IDRCSetExtractImage()または IDRCSetExtractDib()で画像を設定しておく必要があります。</p>

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCSetMatchFormatWithRotateImage(pLastDirect)</p>																			
<p>機能</p>	<p>設定されている画像を自動回転してマッチするフォーマットの番号を取得します。 マッチしたフォーマットがある場合、そのフォーマットをカレントフォーマットに設定します。</p>																			
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 なし</p> <p>【出力】</p> <table border="0"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">int *</td> <td style="padding-right: 20px;">pLastDirect;</td> <td>回転角度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0 : 回転なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1 : 右 90 度回転</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2 : 180 度回転</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3 : 左 90 度回転</td> </tr> </table> <p>【戻り】 マッチしたフォーマット番号(0 オリジン)</p> <table border="0"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">-1</td> <td>マッチしなかった場合</td> </tr> <tr> <td>上記以外のエラー</td> <td>エラーコード一覧参照</td> </tr> </table>	int *	pLastDirect;	回転角度			0 : 回転なし			1 : 右 90 度回転			2 : 180 度回転			3 : 左 90 度回転	-1	マッチしなかった場合	上記以外のエラー	エラーコード一覧参照
int *	pLastDirect;	回転角度																		
		0 : 回転なし																		
		1 : 右 90 度回転																		
		2 : 180 度回転																		
		3 : 左 90 度回転																		
-1	マッチしなかった場合																			
上記以外のエラー	エラーコード一覧参照																			
<p>備考</p>	<p>事前に IDRCSetExtractImage()または IDRCSetExtractDib()で画像を設定しておく必要があります。 本関数実行後は、設定されている画像が回転角度に応じて回転されます。</p>																			

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCHandleOneExtractFieldText(num, buf, bufmax)</p>
<p>機能</p>	<p>カレントフォーマットを使用して認識し、指定番目のフィールドのテキストを取得します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】</p> <p>int num; 取得するテキストのフィールド番号</p> <p>int bufmax; 配列 buf[]の最大値</p> <p>【出力】</p> <p>char buf[]; 取得したテキストを格納するバッファ</p> <p>【戻り】</p> <p>IDR_ERROR_NORMAL 正常終了</p> <p>上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	<p>事前に IDRCHandleExtractImage()または IDRCHandleExtractDib()で画像を設定しておく必要があります。</p> <p>事前に IDRCHandleExtractFieldsNumber()で指定フィールドが存在するか存在しないかを判定しておく必要があります。</p>

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCTerminateExtractFields()</p>
<p>機能</p>	<p>帳票認識ライブラリーの終了処理を行います。 確保したメモリーを解放し、ロードしたフォーマットをすべて破棄します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 なし 【出力】 なし 【戻り】 IDR_ERROR_NORMAL 正常終了 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	

<p>名称</p>	<p>void CallBack IDRCCChangeCheckThresh(thresh)</p>
<p>機能</p>	<p>チェックマーク識別に使用するしきい値を設定します。 チェックマーク識別を行う画像領域内で、黒画素の割合が、本関数で設定する値以上ある場合に、チェックされていると判定します。 本関数でしきい値を設定するまでは、デフォルトで 5% に設定されています。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 int thresh; 設定するしきい値(単位 : %) 【出力】 なし 【戻り】 なし</p>
<p>備考</p>	

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCSetFormatMatchThresh(thresh)</p>
<p>機能</p>	<p>フォーマットマッチングのしきい値を変更します。 本関数でしきい値を設定するまでは、デフォルトで 70 %に設定されています。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 int thresh; 設定するしきい値(単位 : %) 【出力】 なし 【戻り】 旧しきい値 -1 ハードウェア例外が発生 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCCCharUserCHANGE(filename)</p>
<p>機能</p>	<p>活字文字認識のユーザーパターン辞書(*.rcg)を、与えられたファイル名のユーザーパターン辞書に切り替えます。 「帳票 OCR」で作成したユーザーパターン辞書を指定します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 char *filename; 切り替えるユーザーパターン辞書ファイルのパス</p> <p>【出力】 なし</p> <p>【戻り】 IDR_ERROR_NORMAL 正常終了 -1 与えられたファイル名の表示文字数が JCS_UD_NANE_MAX を超過 -2 辞書ファイル名の記憶に失敗 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCAutoSkewExtractImage(lastAngle)</p>
<p>機能</p>	<p>設定されている画像を自動的に傾き補正します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 なし</p> <p>【出力】 double *lastAngle; 傾き角度</p> <p>【戻り】 IDR_ERROR_NORMAL 正常終了 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	<p>事前に IDRCSetsExtractImage()または IDRCSetsExtractDib()で画像を設定しておく必要があります。</p> <p>傾きを補正する前に保持していた画像情報を破棄するため、フォーマットマッチ (IDRCSetsMatchFormat()または IDRCSetsMatchFormatWithRotateImage()) の前に設定する必要があります。</p> <p>出力する傾き角度は IDRCSetsLastFormAngle()の戻り値と同じ値です。</p>

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCHandleImage(num, filename, filetype, frameFlag)</p>																												
<p>機能</p>	<p>カレントフォーマットの指定番目のフィールドに対応する画像をファイルに保存します。</p>																												
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】</p> <table border="0"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">int</td> <td style="padding-right: 20px;">num;</td> <td>画像を取得するフィールド番号</td> </tr> <tr> <td>char</td> <td>*filename;</td> <td>取得した画像を保存するファイルのパス</td> </tr> <tr> <td>int</td> <td>filetype;</td> <td>保存する画像形式</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1. TIFF ファイルとして保存</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2. BMP ファイルとして保存</td> </tr> <tr> <td>BOOL</td> <td>frameFlag;</td> <td>矩形に枠線を含めるか含めないかのフラグ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>TRUE 枠を含めた画像を出力</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>FALSE 枠を含めない画像を出力</td> </tr> </table> <p>【出力】</p> <p>なし</p> <p>【戻り】</p> <table border="0"> <tr> <td>IDR_ERROR_NORMAL</td> <td>正常終了</td> </tr> <tr> <td>上記以外のエラー</td> <td>エラーコード一覧参照</td> </tr> </table>	int	num;	画像を取得するフィールド番号	char	*filename;	取得した画像を保存するファイルのパス	int	filetype;	保存する画像形式			1. TIFF ファイルとして保存			2. BMP ファイルとして保存	BOOL	frameFlag;	矩形に枠線を含めるか含めないかのフラグ			TRUE 枠を含めた画像を出力			FALSE 枠を含めない画像を出力	IDR_ERROR_NORMAL	正常終了	上記以外のエラー	エラーコード一覧参照
int	num;	画像を取得するフィールド番号																											
char	*filename;	取得した画像を保存するファイルのパス																											
int	filetype;	保存する画像形式																											
		1. TIFF ファイルとして保存																											
		2. BMP ファイルとして保存																											
BOOL	frameFlag;	矩形に枠線を含めるか含めないかのフラグ																											
		TRUE 枠を含めた画像を出力																											
		FALSE 枠を含めない画像を出力																											
IDR_ERROR_NORMAL	正常終了																												
上記以外のエラー	エラーコード一覧参照																												
<p>備考</p>	<p>事前に IDRCHandleImage()または IDRCHandleDib()で画像を設定しておく必要があります。</p>																												

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCHandleFieldImageRect(num, frameFlag, rectPtr)</p>
<p>機能</p>	<p>指定フィールドの矩形情報を取得します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】</p> <p>int num; 取得するフィールド番号</p> <p>BOOL frameFlag; 矩形に枠線を含めるか含めないかのフラグ</p> <p>TRUE 枠を含めた矩形情報を出力</p> <p>FALSE 枠を含めない矩形情報を出力</p> <p>【出力】</p> <p>IDR_RECTPtr rectPtr; 矩形情報を格納する領域へのポインター</p> <p>【戻り】</p> <p>IDR_ERROR_NORMAL 正常終了</p> <p>上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	<p>事前に IDRCHandleOneExtractFieldText()で認識を実行しておく必要があります。</p>

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCIsWritten(num, threshDot, flagPr)</p>
<p>機能</p>	<p>カレントフォーマットの 指定番目のフィールドに、文字を記入しているか記入していないかを判定します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】</p> <p>int num; 判定するフィールド番号</p> <p>int threshDot; 判定に用いるしきい値(連結黒画素のドット数)</p> <p>【出力】</p> <p>BOOL *flagPr; 文字が記入されているか記入されていないかのフラグ</p> <p> TRUE 記入あり</p> <p> FALSE 記入なし</p> <p>【戻り】</p> <p>IDR_ERROR_NORMAL 正常終了</p> <p>上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	<p>事前に IDRCSetExtractImage()または IDRCSetExtractDib()で画像を設定しておく必要があります。</p>

<p>名称</p>	<p>const LPBITMAPINFOHEADER CallBack IDRCHandleExtractDib()</p>
<p>機能</p>	<p>帳票認識ライブラリーに設定されている画像を DIB 形式で取得します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 なし</p> <p>【出力】 なし</p> <p>【戻り】 BITMAPINFOHEADER へのポインター 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCHandleImage(filename, nType, nPage)</p>
<p>機能</p>	<p>帳票認識ライブラリーに設定されている画像を指定ファイルの指定ページに保存します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】</p> <p>char *filename; ファイル名</p> <p>int nType; 画像形式</p> <p> FILE_L_TIF 1 G4 圧縮 TIFF</p> <p> FILE_L_BMP 2 BMP</p> <p> FILE_L_PCX 3 PCX</p> <p> FILE_L_DCX 4 DCX</p> <p> FILE_L_JPG 5 JPG</p> <p> FILE_L_TIFF_F 6 非圧縮 TIFF</p> <p>int nPage; ページ番号</p> <p>【出力】</p> <p>【戻り】</p> <p>IDR_ERROR_NORMAL 正常終了</p> <p>-1 画像の保存に失敗</p>
<p>備考</p>	

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCGetOneExtractFieldCharInfo(num, n, ptr)</p>
<p>機能</p>	<p>指定フィールドの指定番目の文字が、確定か未確定かの情報を取得します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】</p> <p>int num; フィールド番号 int n; 文字番号</p> <p>【出力】</p> <p>int *ptr; 取得した情報を格納する領域への ポインター 0 : 確定 1 : 未確定</p> <p>【戻り】</p> <p>IDR_ERROR_NORMAL 正常終了 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	<p>事前に IDRCGetOneExtractFieldText()で認識を実行しておく必要があります。</p>

名称	int CallBack IDRCGetOneExtractFieldCharRect(num, n, rectPtr)													
機能	指定フィールドの指定番目の文字に外接する矩形情報を取得します。													
入出力データ	<p>【入力】</p> <table><tr><td>int</td><td>num;</td><td>フィールド番号</td></tr><tr><td>int</td><td>n;</td><td>文字番号</td></tr></table> <p>【出力】</p> <table><tr><td>IDR_RECTPtr</td><td>rectPtr;</td><td>取得した矩形情報を格納する領域への ポインター</td></tr></table> <p>【戻り】</p> <table><tr><td>IDR_ERROR_NORMAL</td><td>正常終了</td></tr><tr><td>上記以外のエラー</td><td>エラーコード一覧参照</td></tr></table>	int	num;	フィールド番号	int	n;	文字番号	IDR_RECTPtr	rectPtr;	取得した矩形情報を格納する領域への ポインター	IDR_ERROR_NORMAL	正常終了	上記以外のエラー	エラーコード一覧参照
int	num;	フィールド番号												
int	n;	文字番号												
IDR_RECTPtr	rectPtr;	取得した矩形情報を格納する領域への ポインター												
IDR_ERROR_NORMAL	正常終了													
上記以外のエラー	エラーコード一覧参照													
備考	事前に IDRCGetOneExtractFieldText() で認識を実行しておく必要があります。													

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCHandleMatchPercent()</p>								
<p>機能</p>	<p>フォーマット識別後に、その一致度を取得します。</p>								
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 なし</p> <p>【出力】 なし</p> <p>【戻り】</p> <table border="0"> <tr> <td>一致度 (1~30000)</td> <td>大きいほど一致</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>フォーマットが設定されていない</td> </tr> <tr> <td>-1</td> <td>画像が設定されていない</td> </tr> <tr> <td>上記以外のエラー</td> <td>エラーコード一覧参照</td> </tr> </table>	一致度 (1~30000)	大きいほど一致	0	フォーマットが設定されていない	-1	画像が設定されていない	上記以外のエラー	エラーコード一覧参照
一致度 (1~30000)	大きいほど一致								
0	フォーマットが設定されていない								
-1	画像が設定されていない								
上記以外のエラー	エラーコード一覧参照								
<p>備考</p>									

<p>名称</p>	<p>char* CallBack IDRCHandleFormatFileName(num)</p>
<p>機能</p>	<p>帳票認識ライブラリーに設定されている指定番目のフォーマットファイル名を取得します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 unsigned int num; 取得するフォーマット番号 【出力】 なし 【戻り】 ファイル名</p>
<p>備考</p>	

<p>名称</p>	<p>double CallBack IDRCLastFormAngle()</p>
<p>機能</p>	<p>帳票認識ライブラリーに設定されている画像の傾き角度を取得します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 なし</p> <p>【出力】 なし</p> <p>【戻り】 角度 (°) 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	<p>事前に IDRCAutoSkewExtractImage() を実行しておく必要があります。 戻り値は IDRCAutoSkewExtractImage() で出力する傾き角度と同じ値です。</p>

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCLastFormRotateDirect()</p>								
<p>機能</p>	<p>フォーマットマッチ後に、画像の向きを取得します。</p>								
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 なし</p> <p>【出力】 なし</p> <p>【戻り】</p> <table data-bbox="453 1025 778 1211"> <tr> <td>0</td> <td>0 度回転</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>右 90 度回転</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>180 度回転</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>左 90 度回転</td> </tr> </table> <p>-0x00010000 フォーマットが設定されていない</p> <p>上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>	0	0 度回転	1	右 90 度回転	2	180 度回転	3	左 90 度回転
0	0 度回転								
1	右 90 度回転								
2	180 度回転								
3	左 90 度回転								
<p>備考</p>	<p>事前に IDRCLastFormRotateImage を実行しておく必要があります。</p>								

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCCheckData(num, pbRet)</p>
<p>機能</p>	<p>以下のチェック項目で、指定フィールドのデータチェックをします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数式によるチェック ・ 文字数によるチェック ・ 必須チェック
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】</p> <p>int num; チェックするフィールド番号</p> <p>【出力】</p> <p>int *pbRet; チェック結果を格納する領域への ポインタ</p> <p> 1:OK</p> <p> 0:NG</p> <p>【戻り】</p> <p>IDR_ERROR_NORMAL 正常終了</p> <p>上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	<p>事前に IDRCCheckOneExtractFieldText()で認識を実行しておく必要があります。</p>

名称	int Callback IDRCHandleGetNumOfSubFields(num, pnNum)
機能	指定フィールドのサブフィールド数を取得します。
入出力データ	<p>【入力】</p> <p>int num; 取得するフィールド番号</p> <p>【出力】</p> <p>int *pnNum; サブフィールド数を格納する領域へのポインター</p> <p>【戻り】</p> <p>IDR_HANDLE_ERROR_NORMAL 正常終了</p> <p>上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
備考	

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCClearNoise (dotsize)</p>
<p>機能</p>	<p>指定サイズでノイズ除去します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 int dotsize; 除去するノイズのサイズ(ドット) 【出力】 なし 【戻り】 IDR_ERROR_NORMAL 正常終了 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCSetsLogLevel (nLevel)</p>
<p>機能</p>	<p>ログの出力レベル（出力情報の詳細度）を設定し、ログを出力します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】 int nLevel; ログの出力レベル 0 : ログを出力しない 1~3 : ログを出力する 数字の大きい方がより詳細な情報を出力します。</p> <p>【出力】 なし</p> <p>【戻り】 IDR_ERROR_NORMAL 正常終了 上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	<p>本関数を呼び出すことで、指定した出力レベルでログ出力が開始されます。 出力されたログファイルは、製品サポートで使用します。 出力先ファイルは、IDRCSetsLogFile() で指定できます。 既定の出力先は、[マイ ドキュメント]フォルダーの POOCR_PID.log(※) です。 ※PID には実行時のプロセス ID が入ります。</p>

<p>名称</p>	<p>int CallBack IDRCSetsLogFile (pFilePath)</p>
<p>機能</p>	<p>ログの出力先ファイルを設定します。</p>
<p>入出力データ</p>	<p>【入力】</p> <p>char *pFilePath; ログファイルの出力先パス名</p> <p>【出力】</p> <p>なし</p> <p>【戻り】</p> <p>IDR_ERROR_NORMAL 正常終了</p> <p>上記以外のエラー エラーコード一覧参照</p>
<p>備考</p>	<p>本関数を呼び出してログファイルの出力先パス名を明示的に指定しない場合は、既定の出力先フォルダーに既定のファイル名で保存されます。</p> <p>既定の出力先は、[マイ ドキュメント]フォルダーの POCR_PID.log(※) です。</p> <p>※PID には実行時のプロセス ID が入ります。</p>

4. エラーコード

関数は戻り値として、以下のエラーコードのいずれかを返します。

エラーコード一覧表

エラー番号	エラーメッセージ	内容
共通		
0x7fffffff	IDR_ERROR_EXCEPTION	ハードウェア例外が発生
0x0000	IDR_ERROR_NORMAL	正常終了
0x0001	IDR_ERROR_MEMORY	メモリー不足
0x0002	IDR_ERROR_PARAMETER	引数が間違い
0x0003	IDR_ERROR_RECOG_AREA	認識領域が A4 版より大きい
0x0004	IDR_ERROR_IMAGE_AREA	認識領域がイメージデータを超過
0x0005	IDR_ERROR_PERMIT	許可された ID と異なる
0x0006	IDR_ERROR_MULTI_INSTANCE	多重起動された
0x0007	IDR_ERROR_TRIAL_LIMIT	体験版の使用期限を超過
0x10006	IDR_NON_SUPPORT_OS	未対応 OS
文字認識（日本語・英語）		
0x0200	IDR_ERROR_CHAR_DICTLOAD	辞書読み込みエラー
0x0201	IDR_ERROR_CHAR_DICTDATA	辞書データエラー
0x0202	IDR_ERROR_CHAR_VOIDTEXT	領域中に文字がない
0x0203	IDR_ERROR_CHAR_EXCEPTREGION	無視された部分がある
0x0204	IDR_ERROR_CHAR_ILLEGIBLETEXT	認識不能
0x0205	IDR_ERROR_CHAR_DIRECTION	未対応の文字組方向がある
0x0206	IDR_ERROR_CHAR_TOOMANY	1 領域中の文字数が多過ぎる
0x0207	IDR_ERROR_CHAR_STOP	ユーザーからの中止
0x0208	IDR_ERROR_CHAR_OVER	登録文字数が上限を超過
0x0209	IDR_ERROR_NOT_EXIST	登録文字が辞書に存在しない
0x020a	IDR_ERROR_NOT_ENTRY	文字が登録されていない
0x020b	IDR_ERROR_NOT_REMOVE	文字を削除できない
0x020c	IDR_ERROR_ENTRY_YET	文字が既に登録されている
0x020d	IDR_ERROR_TIMEOUT	処理時間がかかり過ぎたために処理を中断した
0x0210	IDR_ERROR_JCHAR_UD_LIMIT	ユーザー辞書の登録語数上限を超過
0x0211	IDR_ERROR_JCHAR_UD_HINSHI	ユーザー辞書には不適な品詞番号
0x0212	IDR_ERROR_JCHAR_UD_ALREADY	辞書に登録済み
0x0213	IDR_ERROR_JCHAR_UD_SPACE	ユーザー辞書に空白文字を登録

エラー番号	エラーメッセージ	内容
0x0214	IDR_ERROR_JCHAR_UD_LARGE	ユーザー辞書への登録文字が60Point以上
0x0215	IDR_ERROR_JCHAR_UD_CODE	ユーザー辞書に不適な文字を登録
0x0216	IDR_ERROR_JCHAR_UD_RECOVER	ユーザー辞書処理において何らかの障害が発生したが、関数内部で対策を行った
0x0217	IDR_ERROR_JCHAR_UD_SAVE	ユーザー辞書ファイルの保存に失敗
表認識		
0x0300	IDR_ERROR_TABLE_COMPLEX	表が複雑過ぎる
0x0301	IDR_ERROR_TABLE_LINEDENSITY	線が密集し過ぎる
後処理		
0x0500	IDR_ERROR_POST_UD_LIMIT	ユーザー辞書の登録語数上限を超過
0x0501	IDR_ERROR_POST_UD_HINSHI	ユーザー辞書には不適な品詞番号
0x0502	IDR_ERROR_POST_UD_ALREADY	辞書に登録済み
0x0503	IDR_ERROR_POST_UD_SPACE	ユーザー辞書に空白文字を登録
0x0504	IDR_ERROR_POST_UD_CODE	ユーザー辞書に不適な文字を登録
0x0505	IDR_ERROR_POST_UD_RECOVER	ユーザー辞書処理において何らかの障害が発生したが、関数内部で対策を行った
0x0506	IDR_ERROR_POST_UD_SAVE	ユーザー辞書ファイルの保存に失敗
画像処理		
0x0601	IDR_ERROR_F_OPEN	オープンエラー
0x0602	IDR_ERROR_F_READ	読み込みエラー
0x0603	IDR_ERROR_F_SEEK	読み込みシークエラー
0x0604	IDR_ERROR_F_TAGMAX	タグエラー
0x0605	IDR_ERROR_F_TIFFTYPE	tiff形式エラー
0x0606	IDR_ERROR_F_BMPTYPE	bmp形式エラー
0x0607	IDR_ERROR_F_DATA	データエラー
0x0608	IDR_ERROR_F_WRITE	書き込みエラー
0x0609	IDR_ERROR_F_OVERFLOW	オーバーフローエラー
0x060a	IDR_ERROR_F_SIZE	サイズエラー
0x060b	IDR_ERROR_F_COMPRESS	圧縮エラー
0x060c	IDR_ERROR_F_COLOR	カラーエラー
0x060d	IDR_ERROR_ROTAUTO	傾き補正ができない

エラー番号	エラーメッセージ	内容
帳票		
0x0601	IDR_ERROR_FORM_NO_START	IDRStartAddExtractFields()が呼ばれていない
0x0602	IDR_ERROR_FORM_EXTRACTMAX	フィールド数が登録の上限を超過
0x0603	IDR_ERROR_FORM_FILEOPEN	ファイルのオープンに失敗
0x0604	IDR_ERROR_FORM_FILEWRITE	ファイルの書き込みに失敗
0x0605	IDR_ERROR_FORM_FILEREAD	ファイルの読み込みに失敗
0x0606	IDR_ERROR_FORM_FILETYPE	ファイルのタイプが違う
0x0607	IDR_ERROR_FORM_STRANGEDATA	登録済みのデータがおかしい
0x0608	IDR_ERROR_FORM_NO_SETIMAGE	画像が設定されていない (IDRCSetExtractImage())が呼ばれていない
0x0609	IDR_ERROR_FORM_DIFF_FORMAT	帳票フォーマットが違う
0x060a	IDR_ERROR_FORM_USERDEFINE	ユーザー定義文字が間違い
0x060b	IDR_ERROR_FORM_PARAMETER	引数が間違い
0x060c	IDR_ERROR_FORM_NODATA	データがない
0x060d	IDR_ERROR_FORM_CHARNUM	固定けた数エラー
0x060e	IDR_ERROR_FORM_SMALLBUF	出力バッファが足りない
0x0700	IDR_ERROR_INVALIDEQUATION	数式チェックエラー
USB キープロテクト		
0x00020001 ~ 0x00020300	(IDR_ERROR_LICENSE + 0x0001) ~ (IDR_ERROR_LICENSE + 0x0300)	ライセンスエラー

JIS 第 1 水準漢字 (2,965 字)

巫唾娃阿哀愛挨始逢葵茜菴惡握渥旭葦芦鱗梓压幹扱宛姐虻飴綯綾鮎或粟裕安庵按暗案闇鞍杏以伊位
 依偉困夷委威尉惟意慰易倚為畏異移維緯胃萎衣謂違遺医并亥域育郁磯一壹溢逸稻茨芋罽允印咽員因
 姻引飲淫胤蔭院陰隱韻吋右宇烏羽迂右卯鵝窺丑碓臼渦噓唄鬱蔚縵姥厩浦瓜閏罇云運雲往餌穀營嬰影
 映曳栄永泳洩瑛盈穎穎英衛詠銳液疫益馱悅謁越閱榎厭円園堰奄宴延怨掩援沿演炎焰煙燕猿緣艷苑園
 遠鉛鴛塢於汚甥凹央奧往応押旺橫欧毆王翁襖鶯鳴黃岡冲荻億屋憶臆桶牡乙俺卸恩温穩音下化佻何伽
 伽佳加可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂禍禾稼箇花苛茄荷華菓蝦課嘩貨迦過霞蚊俄峨我牙画臥芽蛾賀
 雅餓駕介会解回塊壞迴快怪悔恢懷戒拐改魁晦械海灰界皆絵芥蟹開階貝凱効外咳害崖慨概涯碍蓋街該
 鎧骸湮蟻蛙垣柿蛎鈎劃嚇各廓拈攪格核殼獲確穫覺角赫較郭閣隔革学岳樂額顚掛笠樞樞棍鯁渴割喝恰
 括活渴滑葛褐轄且鯉叶柁樺鞞株兜龜蒲釜鎌嚙鴨栢茅萱粥刈苻瓦乾侃冠寒刊勘勸卷喚堪姦完官寬干幹
 患感憤憾換敢柑桓棺款款汗漢澗灌環甘監看竿管簡緩缶翰肝艦莞觀諫賁還鑑間閑閑閤韓館館丸含岸巖
 玩癌眼岩翫贗雁頑顏願企伎危喜器基奇嬉寄岐希幾忌揮机旗既期棋棄機婦毅氣汽畿祈季稀紀徽規記貴
 起軌輝飢飢龜偽儀妓宜戲技擬欺犧疑祇義蟻誼議掬菊菊吉吃喫桔橘詰砧杵黍却客脚虐逆丘久仇休及
 吸宮弓急救朽求汲泣灸球究窮笈級糾給旧牛去居巨拒拋拳渠虛許距鋸漁禦魚亨享京供俠僑兇競共凶協
 匡卿叫喬境峽強疆怯恐恭挾教橋況狂狹矯胸脅興蕎鄉鏡響饗驚仰凝堯曉業局曲極玉桐籽僅勤均巾錦斤
 欣欽琴禁禽筋緊芹茵衿襟謹近金吟銀九俱句区狗玖根苦軀驅駙駒具愚虞喰空偶寓遇隅串櫛釧屑屈窟窟
 沓靴轡窪熊隈桑栗纁桑鋏勲君薰訓群軍郡卦袈袂係傾刑兄啓圭珪型契形徑惠慶慧憩揭携敬景桂溪畦稽
 系經繼繫荃荊蚩計詣警輕頸鷄芸迎鯨劇戟擊激隙析傑欠決潔穴結血訣月件儉倦健券劍喧圈堅嫌建
 憲懸拳捲檢權牽犬獻研硯絹梟肩見謙賢軒遣鍵險顯驗鹼元原蔽幻弦滅源玄現絃絃言諺限乎個古呼固姑
 孤己庫孤戶故枯湖狐糊袴股胡菰虎誇跨鈎雇顧鼓五互伍午吳吾娛後御悟梧檣瑚碁語誤護翻乞鯉交倏侯
 候倏光公功効勾厚口向后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸庠庚康弘恒慌抗拘控攻昂晃更杭校梗構江洪浩港溝
 甲皇硬稿糠紅紘絞綱耕考肯肱腔膏航荒行衡講貢購郊醉鈇砧鋼閤降項香高鴻剛劫号合壕拷濠豪轟趨克
 刻告國毅酷鵠黑獄漉腰鵠忽惚骨狍込此頃今困坤墾婚恨懇昏昆根梱混痕紺良魂些佐又唆嵯左差查沙礎
 砂詐鎖娑坐座挫債催再最哉塞妻宰彩才採栽歲濟災采犀碎砦祭齋細菜裁載際劑在材罪財冴坂阪堺榭肴
 咲崎崎礫儂作削咋搾昨朔柵窄策索錯梭鮫筴匙冊刷察擦撮擦札殺薩雜皐鯖捌鏑鮫血晒三傘參山慘散散
 棧燦珊產算纂蚕讚贊酸餐斬暫殘仕仔伺使刺司史嗣四士始姉姿子屍市師志思指支攷斯施旨枝止死氏獅
 祉私糸紙紫肢脂至視詞詩誌諮資賜雌飼齒事似侍兒字寺慈持時次滋治爾璽痔磁示而耳自蒔辞夕鹿式
 識鳴竺軸穴零七叱執失嫉室悉湿漆疾質寔蓓篠偲柴芝屢蕊縞舍写射捨赦斜煮社紗者謝車遮蛇邪借勺尺
 杓灼爵酌积錫若寂弱惹主取守手朱殊狩珠種腫趣酒首儒受呪寿授樹綬需囚収周宗就州修愁拾洲秀秋終
 繡習臭舟菟衆襲讐蹶輯週酋酬集醜什住充十從戎柔汁泚獸縱重銃叔夙宿淑祝縮肅塾熟出術述俊峻春瞬
 竣舜駿准循旬楯殉淳準潤盾純巡遵醇順処初所暑曙渚庶緒署書薯諸諸助叙女序徐恕鋤除傷償勝匠升召
 哨商唱嘗娑妾娼宵将小少尚庄床廠彰承抄招掌捷昇昌昭晶松梢樟樵沼消涉湘燒焦照症省硝礁祥称章笑
 粧紹肖莒蔣蕉衝裳訟証詔詳象賞醬鉦鍾鐘障鞘上丈丞乘冗剌城場壤壤常情擾条杖淨状置穰蒸讓釀錠囁
 埴飾拭植植燭織職色蝕食蝕辱尻伸信侵唇娠寢審心慎振新晋森榛浸深申疹真神秦紳臣苾薪親診身辛進
 針震人仁刃塵壬尋甚尽腎訊迅陣鞞箭諛須酢囟厨逗吹垂帥推水炊睡粹翠衰遂醉錘錘隨瑞髓崇嵩数枢趨
 難据杉相菅頗雀裾澄摺寸世瀨畝是凄制勢姓征性成政整星晴棲栖正清牲生盛精聖声製西誠誓請逝醒青

靜齊稅脆隻席惜戚斥昔析石積籍績脊責赤跡蹟碩切拙接撰折設窃節説雪絶舌蟬仙先千占宣專尖川戰扇
撰栓柵泉淺洗染潛煎爛旋穿箭線織羨腺舛船薦詮賤踐選遷錢銑閃鮮前善漸然全禪繕膳糰嚙塑岨措曾曾
楚狙疏疎礎祖租粗素組蘇訴阻遡鼠僧創双叢倉喪壯奏爽宋層匠忽想搜掃掃搔操早曹巢槍槽漕燥争瘦相
窓糴綜綜聡草莊葬蒼藻裝走送遭鎗霜騷像增憎臟藏贈造促側則即息捉束測足速俗厲賊族統卒袖其揃存
孫尊損村遜他多太汰詒唾墮妥情打柁舵檣陀馱驂体堆对耐岱帶待怠態戴替泰滯胎腿苔袋貸退逮隊黛鯛
代台大第醜題鷹淹瀧卓啄宅托挾拓沢濯塚託鐸濁諾茸風蚱只叩但達辰奪脱翼豎迦棚谷狸鱒樽誰丹单喚
坦担探且歎淡湛炭短端筆綻耽胆蛋誕鍛団壇彈断暖檀段男談值知地弛恥智池痴稚置致蜘蛛馳築畜竹筑
蓄逐秩室茶嫡着中仲宙忠抽屋柱注虫衷註耐鑄駐構豬猪芋著貯丁兆凋喋寵帖帳庁吊張彫微徵挑暢朝潮
牒町眺聽脹腸蝶調謀超跳鈔長頂烏勅抄直朕沈珍賃鎮陳津墜椎槌追鎚痛通塚柁捆楓佃漬柘辻蕪綴鏗鏗
潰坪壺孺絀爪吊釣鶴亭低停偵荆貞呈堤定帝底庭廷弟悌抵挺提梯汀碇禎程締艇訂諦諦遜邸鄭釘鼎泥摘
擢敵滴的笛適鎬溺哲徹撤撤迭鉄典墳天展店添纏甜貼転顛点伝殿澱田電兕吐堵塗垢屠徒斗杜渡登菟蹶
途都鍍砥砺努度土奴怒倒党冬凍刀唐塔塘套宕島嶋悼投搭東桃棣棟盜淘湯涛灯燈当痘禱等答筒糖統到
董蕩藤討騰豆踏逃透銜陶頭騰鬪働動同堂導懂撞洞瞳童銅苟道銅岬鴛匿得德洸特禿髻篤毒独読柝柂凸
突椽届鳶苜寅酉滯噸屯惇敦沌豚遁頓吞曇鈍奈那内乍胤薙謎灘捺鍋檣馴繩躡南楠軟難汝二尼忒迹匂脈
肉虹廿日乳入如尿菲任妊忍認濡襦衽寧葱猫熱年念捻撚燃粘乃迺之埜囊惱濃納能腦膿農硯蚤巴把播霸
杷波派琶破婆罵芭馬俳佛拜排敗杯盃背肺輩配倍培媪梅煤煤狼買壳賂陪這蠅秤矧矧伯剝博拍柏泊白
箔粕舶薄迫曝漠爆縛莫駁麦函箱砒箸筆樞幡肌畑畠八鉢澆尧醜髮伐罰拔筏闊鳩嘶塙蛤隼伴判半反叛
帆搬斑扳汎汎版犯班畔繁繁藩販範采煩煩飯挽晚番盤盤蕃蚤匪卑否妃庇彼悲扉批披斐比泌疲皮碑秘祕
罷肥被誹費避非飛樋篋備尾微枇毘毘眉美鼻柇稗匹疋髟彦膝菱肘弼必畢筆逼檢姫媛紐百謬佞彪標氷漂
瓢票表評豹廟描病秒苗鋤鉤蒜蛭鰭品彬斌浜瀕貧賓頻頻瓶不付埠夫婦富富布府怖扶敷斧普浮父符腐膚
芙譜負賦赴阜附侮撫武舞葡蕪部封楓風葺落伏副復幅服福腹復覆淵弗払沸仏物鮎分吻噴墳憤扮焚奮粉
糞紛雰文閨丙併兵摒幣平弊柄並蔽閉陞米頁僻壁癖碧別瞥蔑篋偏變片篇編辺返遍便勉婉弁鞭保舖鋪圃
捕步甫補輔穗募墓慕戍暮母簿菩倣倣包呆報奉宝峰峯崩庖抱捧放方朋法泡烹砲縫芳萌蓬蜂褒訪邦
鋒飽鳳鵬乏亡傍剖坊妨帽忘忙房暴望某棒冒紡肪膨謀貌質鉞防吠頰北僕卜墨撲朴牧睦穆卸勃没殆堀幌
奔本翻凡盆磨磨魔麻埋妹妹枚每哩禎幕膜枕鮪枉鱗柁亦侯又抹末沫迄侏爾磨万慢滿漫蔓味未魅己箕岬
密蜜湊蓑稔脈妙耗民眠務夢無牟矛霧鷓掠婿娘冥名命明盟迷銘鳴姪牝滅免棉綿緬面麵摸模茂妄孟毛猛
盲網耗蒙儲木默目空勿餅尤戾初賞問悶紋門匆也冶夜爺耶野弥矢厄役約葉訊躍靖柳藪鎚愉愈油癒諭輸
唯佑優勇友宥幽悠憂揖有柚湧涌猶猷由祐裕誘遊邑郵雄融夕予余与譽輿預傭幼妖容庸揚搖擁曜楊樣洋
溶熔用窯羊耀葉蓉要謠踊遙陽養慾抑欲沃浴翌翼淀羅螺裸来萊賴雷洛絡落酪乱卵嵐欄濫藍蘭覽利吏履
李梨理璃裏裡里離陸律率立葎掠略劉流溜琉留疏粒隆龍侶慮旅虜了亮僚兩凌寮料梁涼獭療瞭稜糧
良諒遼量陵領力綠倫厘林淋淋臨輪隣鱗璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘璘
烈裂廉戀恠連煉簾練聯連鍊呂魯櫓炉路露勞婁廊弄朗樓榔浪漏牢狼箠老聾蠅郎六麓祿肋録論倭和
話歪賄脇惑粹鷺互巨鰐詫藁蕨椀灣碗腕

